



若あゆ



地域で子どもたちの安全を守る

校長 米原 大司

今年は9月も蒸し暑い日が続きました。秋分の日を境にようやく秋らしい気候となってきました。秋分の日には、本校金管バンドとうなぎダンサーズが浦和まつりに参加し、お祭りを大いに盛り上げてくれました。また、昨日まで6年生が日光に修学旅行に行き、日光の自然と文化遺産を堪能してまいりました。

さて、永年懸案だった緑コースのスクランブル交差点脇のグリーンベルトに、オレンジポールが6本設置されました。今までに本校の保護者の方が市に投書してくださったり、正門で本校の子どもたちを50年以上見守ってくださっている高砂2丁目自治会長の高橋さんが警察署や市役所に掛け合ってくださいたり、交通指導員の島宗さんが要望書を関係機関に出していただいたり、多くの方が働きかけをしてくださいました。道路の幅員の関係で固定物の設置はできないと言われた場所に、2学期早々、オレンジポールが設置されました。走行する自動車への注意喚起とともに、子どもたちがグリーンベルトをより意識して歩行できるようになり、交通安全の効果が高まりました。御尽力いただいた関係の皆様にご心より感謝申し上げます。



また、本校の正門と南門の前の坂道は、スクールゾーンとなっておりますが、最近では幹線道路の脇道として通り向ける車が増えており困っておりました。育成会の皆様にご相談したところ、早速スクールゾーンの表示物（通称ウマ）を購入していただき、9月19日（金）からまずは正門と南門の前の道路の両端に設置を開始しました。ウマの保管場所につきましては、岸町五丁目みどり自治会、別所第一自治会、浦和商業高校の皆様にご配慮いただきました。設置をしてから、車の進入がほとんどなくなり、ウマの効果を実感しております。水色コースにも子どもたちが多く通るスクールゾーンがあり、そちらにもウマを置ければと思っています。



時間帯は、7時半から8時半の1時間です。ウマを置くこと以上に、時間が過ぎたらウマを戻すことが必要です。学校の近くは、警備員と用務員、学校地域連携コーディネーターの3人で4つのウマを管理しています。もし、水色コースのスクールゾーンの出入口付近にお住まいで、ウマの管理をしてもよいという方がいらっしゃいましたら、学校までご連絡ください。（TEL 861-4320）

スクールゾーンの路面表示についても、一部整合性が無いところがあり、本校PTAから区役所の担当課に申請をしていただいております。

学校外だけでなく、本校敷地内での交通安全として、敷地内での自転車走行禁止の表示を設置しました。本校に自転車でお出での際には、自転車を降りて移動するようにお願いいたします。

最近では、自転車のヘルメット着用も定着してきました。着用は努力義務ではありますが、子どもたちの安全を守るには欠かせないものだと考えます。お子様だけでなく御家族のヘルメット着用にご協力ください。我々教職員も子どもたちのロールモデルとなるよう、ヘルメットを着用してまいります。